



414
A 2619
3

秘

府縣制

- 第一章 總則
- 第二章 府縣會
 - 第一款 組織及選舉
 - 第二款 職務權限及處務規程
- 第三章 府縣參事會
 - 第一款 組織及選舉
 - 第二款 職務權限及處務規程
- 第四章 府縣行政
 - 第一款 府縣吏員ノ組織及任免
 - 第二款 府縣官吏、府縣吏員ノ職務權限及處務規程
 - 第三款 給料及給與
- 第五章 府縣ノ財務

大正十一年四月



第一款 府縣有財產、營造物及府縣稅

第二款 府縣ノ歲入出豫算及決算

第六章 府縣行政ノ監督

第七章 附則

府縣制

第一章 總則

第一條 府縣ハ其ノ區域内ニ在ル郡市及島嶼ヲ總括ス

第二條 府縣ハ法人トシ官ノ監督ヲ受ケ法律命令ヲ以テ定メタル範圍内ニ

於テ其ノ公共事務並法律命令又ハ慣例ニ依リ府縣ニ屬スル事務ヲ處理スル

モノトス

第三條 府縣ノ廢置分合又ハ境界變更ヲ要スルトキハ法律ヲ以テ之ヲ定ム

府縣ノ境界ニ當ル市町村ノ廢置分合又ハ境界變更ヲ爲シタルトキハ府縣

境界モ亦自ラ變更スルモノトス所屬未定地ヲ市町村ニ編入シタルトキ亦

同シ

本條ノ處分ニ付財產處分ヲ要スルトキハ内務大臣ハ關係アル府縣參事會
ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ム但シ特ニ法律ノ規程アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二章 府縣會

第一款 組織及選舉

第四條 府縣會議員ハ府縣ノ選舉人其ノ被選舉權アル者ニ就キ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス

選舉區ハ郡市ノ區域ニ依ル但シ東京市京都市大阪市ニ於テハ區ノ區域ニ依ル

第五條 府縣會議員ハ府縣ノ人口七十萬マテハ議員三十人ヲ以テ定員トシ七十萬以上百萬マテハ五萬ヲ加フル毎ニ一人ヲ増シ百萬以上ハ七萬ヲ加フル毎ニ一人ヲ増ス

市部會郡部會ヲ設ケタル府縣ニ於テ市部若クハ郡部ヨリ選出スヘキ議員ノ員數十名ニ滿タサルトキハ其ノ員數ヲ十名ト爲スヘシ

第六條 府縣會議員ノ配當ハ主トシテ人口ヲ標準トシ府縣知事之ヲ定ム

第七條 府縣内ノ市町村公民ニシテ市町村會議員ノ選舉權ヲ有シ且其ノ府縣内ニ於テ一年以來直接國稅年額五圓以上ヲ納ムル者ハ府縣會議員ノ選

舉權及被選舉權ヲ有ス
家督ニ依リ財產ヲ相續シタル者ハ其ノ財產ニ付前財產主ノ納稅額ヲ以テ其ノ者ノ納稅資格ニ算入ス

府縣會議員ハ住居ヲ移シタル爲市町村ノ公民權ヲ失フコトアルモ其ノ住居同府縣内ニ在リ住居ヲ除ク外他ノ要件ヲ失ハサルトキハ其ノ任期間其ノ職ヲ失フコトナシ

府縣會議員ノ選舉及被選舉資格中其ノ年限ニ關スルモノハ市町村ノ廢置分合若クハ境界變更處分ノ爲ニ中斷セラルコトナシ

左ニ掲クル者ハ府縣會議員ノ被選舉權ヲ有セス其ノ選舉權ハ其ノ住居ノ府縣ニ依リ

- 一 其ノ府縣ノ官吏及有給吏員
- 二 檢事、警察官吏及收稅官吏
- 三 神官、僧侶其ノ他諸宗教師
- 四 小學校教員

五 其ノ事務ノ存續ヲ爲ス者
直接間接ヲ問ハズ其ノ府縣ニ屬スル事業ノ請負ヲ爲ス者

前項ノ外ノ官吏ニシテ當選シ之ニ應セントスルトモハ所屬長官ノ許可ヲ

受クヘシ
選舉事務中ノ事務ニ付テハ其ノ事務ニ依リテ其ノ職務ヲ行フヘキ市町村吏員ハ其ノ選舉區ニ

郡官吏及第十五條第十六條ノ職務ヲ行フヘキ市町村吏員ハ其ノ選舉區ニ
於テ選舉セララルコトヲ得ネ

府縣會議員ハ衆議院議員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第八條 府縣會議員ハ名譽職トス

府縣會議員ノ任期ハ四年トシ每二年其ノ半數ヲ改選ス若其ノ員數二分シ

難キトキハ先ツ多數ノ一半ヲ解任セシム

定期改選ニ際シ又ハ議員ノ定數ニ異動ヲ生シ又ハ議員ノ配當ヲ更正シタ

ル爲解任ヲ要スル者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

議員ノ定數ニ異動ヲ生シ又ハ議員ノ配當ヲ更正シタル爲新ニ選舉セラレ

タル議員ハ次回ノ改選期又ハ其ノ次ノ改選期マテ在職スルモノトス其ノ

新ニ選舉セラルル者ハ其ノ次ノ改選期ニ於テ解任スヘキ者ハ抽籤ヲ以テ之ヲ
定ム
退回者ハ再選セララルコトヲ得

第九條 府縣會議員中闕員アルトキハ遅クとも六箇月以内ニ補闕選舉ヲ行

フヘシ

補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第十條 町村長ハ毎年九月十五日ヲ期トシ其ノ現在資格ニ依リ其ノ町村内

ノ選舉人名簿二本ヲ調製シ其ノ一本ヲ十月一日マテニ郡長ニ送付スヘシ

郡長ハ町村長ヨリ送付シタル名簿ヲ合シ毎年十月十五日マテニ其ノ選舉

區ノ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

第十一條 市長ハ毎年九月十五日ヲ期トシ其ノ現在資格ニ依リ十月十五日

マテニ其ノ選舉區ノ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

第十二條 選舉人其ノ住居スル市町村外ニ於テ直接國稅ヲ納ムルトキハ九

月十五日マテニ當該行政廳ノ證明ヲ得テ其ノ住居地ノ市町村長ニ届出ツ
ヘシ其ノ期限内ニ届出ヲ爲サルトキハ其ノ納税額ハ選舉人資格ニ算入
セス

又正者ノ事務係前條ノ
手續ニ依リテ能ク名簿
ニ登録スルコト也

第十三條 郡市長ハ十月二十日ヨリ十五日間其ノ郡市役所ニ於テ選舉人名
簿ヲ關係者ノ縦覽ニ供スヘシ若關係者ニ於テ異議アルトキハ縦覽期限内
ニ之ヲ郡市長ニ申立ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ郡市長ハ其ノ申立ヲ受
ケタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ決定スヘシ
前項郡市長ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會ニ訴願シ其ノ府縣參事會ノ
裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得郡市長ニ於テ不服ア
ルトキ亦同シ

選舉人名簿ハ十二月十五日ヲ以テ確定期限トシ確定名簿ハ次年ノ十二月
十五日マテ之ヲ据置クモノトス

確定名簿ニ登録セラレサル者ハ何人タリトモ選舉ニ參與スルコトヲ得ス
但選舉人名簿ニ記載スル者ハ確定名簿ニ記載スル者ニ限リ選舉
ノ者ハ投票所ニ到ル者ハ限リ得ス

府縣參事會ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決ニ依リ名簿ノ修正ヲ要スルトキ
ハ郡市長ニ於テ直ニ之ヲ修正スヘシ

本條ニ依リ郡市長ニ於テ名簿ヲ修正シタルトキハ其ノ要領ヲ告示シ郡長
ハ本人住居地ノ町村長ニ通知スヘシ

確定名簿ニ登録セラレタル者キシテ選舉人ノ資格ナキコトヲ發見シ若ク
ハ其ノ資格ヲ失フ者アルモ名簿ヲ修正スル限ニ在ラス但選舉人ノ資格
ナキ者ハ選舉ニ參與スルコトヲ得ス

異議ノ決定若クハ訴願ノ裁決確定シ又ハ訴訟ノ判決アリタルニ依リ名簿
ノ無効トナリタルトキハ前名簿ニ記載スヘキ選舉人資格ニ依リ新ニ名簿
ヲ調製スヘキモノトス其ノ名簿調製ノ期日及縦覽修正ニ關スル期限等ハ

府縣知事ノ定ムル所ニ依ル但シ名簿調製ノ期日マテニ選舉人資格ヲ失ヒ
タル者ハ名簿ニ登録スル限ニ在ラス

第十四條 府縣會議員ノ選舉ハ府縣知事ノ告示ニ依リ之ヲ行フ其ノ告示ニ

ハ選舉ヲ行フヘキ選舉區投票ヲ行フヘキ日時及選舉スヘキ議員ノ員數ヲ記載シ選舉ノ日ヨリ少クトモ主十日前ニ之ヲ發スヘシ

第十五條 府縣會議員ノ選舉ハ郡市長之ヲ管理スヘシ

第十六條 投票所ハ市役所、町村役場又ハ市町村長ノ指定シタル場所ニ於テ之ヲ設ケ市町村長其ノ事務ヲ管理スヘシ

前項投票所ハ市町村長之ヲ告示スヘシ

第十七條 市町村長ハ臨時ニ其ノ管理スル投票區域内ニ於ケル選舉人中ヨリ立會人二名乃至四名ヲ選任スヘシ

立會人ハ名譽職トス

第十八條 選舉人ノ外何人タリトモ投票所ニ入ルコトヲ得ス但シ投票所ノ管理ニ關係アル職務又ハ投票所ヲ監視スル職權ヲ有スル者ハ此ノ限ニ在ラス

選舉人ハ投票所ニ於テ協議又ハ勸誘ヲ爲スコトヲ得ス

第十九條 選舉ハ投票ヲ以テ之ヲ行フ投票ハ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ選舉人自ラ投票函ニ投入スヘシ

投票キハ選舉人自ラ投票所ニ於テ被選舉人ノ氏名ヲ記シ次ニ自己ノ氏名及住所ヲ記シ捺印スヘシ

投票用紙ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ユヘシ

第二十條 選舉人ニシテ文字ヲ書スルコト能ハサル由ヲ申立ツルトキハ市町村長ハ吏員ヲシテ代書セシメ之ヲ本人ニ讀聞カセ捺印ノ上投票セシメ其ノ由ヲ投票録ニ記載スヘシ

第二十一條 市町村長ハ投票録ヲ製シ投票ニ關スル顛末ヲ記錄シ立會人ト共ニ之ニ署名捺印スヘシ

第二十二條 投票ヲ終リタルトキハ町村長ハ其ノ指定シタル立會人ト共ニ投票函及投票録ヲ併ニ選舉會場ニ送致スヘシ

第二十三條 島嶼其ノ他交通不便ノ地ニ對シテハ府縣知事ハ適宜ニ其ノ投

投票所ニ於テ被選舉人ノ氏名ヲ記シ次ニ自己ノ氏名及住所ヲ記シ捺印スヘシ

投票用紙ハ府縣知事ノ定ムル所ニ依リ一定ノ式ヲ用ユヘシ

投票ノ時ハ投票人ノ氏名ヲ記シ次ニ自己ノ氏名及住所ヲ記シ捺印スヘシ

投票人ニシテ文字ヲ書スルコト能ハサル由ヲ申立ツルトキハ市町村長ハ吏員ヲシテ代書セシメ之ヲ本人ニ讀聞カセ捺印ノ上投票セシメ其ノ由ヲ投票録ニ記載スヘシ

市町村長ハ投票録ヲ製シ投票ニ關スル顛末ヲ記錄シ立會人ト共ニ之ニ署名捺印スヘシ

投票ヲ終リタルトキハ町村長ハ其ノ指定シタル立會人ト共ニ投票函及投票録ヲ併ニ選舉會場ニ送致スヘシ

島嶼其ノ他交通不便ノ地ニ對シテハ府縣知事ハ適宜ニ其ノ投

票期日ヲ定メ選舉會ノ期日マテニ其ノ投票函ヲ送致セシムルコトヲ得
第二十四條 選舉會ハ郡役所、市役所又ハ郡市長ノ指定シタル場所ニ於テ之
ヲ開クヘシ

前項選舉會ノ場所ハ郡市長之ヲ告示スヘシ

第二十五條 郡長ハ各投票所ヨリ參會シタル立會人ノ中ヨリ抽籤ヲ以テ選
舉掛二名乃至六名ヲ定ムヘシ

市長ハ選舉人中ヨリ選舉掛二名乃至六名ヲ選任スヘシ

選舉掛ハ名譽職トス

第二十六條 郡市長ハ選舉掛長ト爲リ郡ニ在テハ投票函ノ總テ到達シタル
翌日、市ニ在テハ投票ノ翌日選舉掛立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト
投票人ノ總數トヲ計算スヘシ若投票ト投票人トノ總數ニ差異ヲ生シタル
トキハ其ノ由ヲ選舉錄ニ記載スヘシ但シ場合ニ依リ選舉會ハ郡ニ在テハ
投票函到達ノ日、市ニ在テハ投票ノ日之ヲ開クコトヲ得

前項ノ計算終リタルトキハ選舉掛長ハ選舉掛ト共ニ投票ヲ點檢スヘシ

第二十七條 選舉人ハ其ノ選舉會ニ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第二十八條 投票ニ記載ノ人員其ノ選舉スヘキ定數ニ過キ又ハ不足アルモ

其ノ投票ヲ無効トセス其ノ定數ニ過クルモノハ末尾ニ記載シタル人名ヲ

順次ニ棄却スヘシ

左ノ投票ハ之ヲ無効トス但シ連名投票ニシテ第十號乃至第三號ニ該當ス

ルモノハ其ノ部分ノミヲ無効トス

一 被選舉人ノ人名讀ミ難キモノ

二 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

三 被選舉權ナキ者ノ人名ヲ記載スルモノ

四 選舉人被選舉人ノ人名ヲ記載セサルモノ

五 選舉人ノ人名讀ミ難キモノ

六 選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

七 選舉人名簿ニ記載ナキ者ノ投票

八 第二十二條第二項ニ規定シタル外他事ヲ記入スルモノ但シ爵位職業

身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入スルモノハ此ノ限ニ在ラス

九 一定ノ投票用紙ヲ用非サルモノ

第二十九條 投票ノ受理並効力ニ關スル事項ハ選舉掛之ヲ議決ス可否同數

ナルトキハ選舉掛長之ヲ決スヘシ

第三十條 府縣會議員ノ選舉ハ有效投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選ト

ス投票ノ數相同キトキハ年長者ヲ取り同年月ナルトキハ選舉掛長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定ム

同時ニ補闕員數名ヲ選舉スルトキハ投票數ノ多キ者ヲ以テ殘任期ノ長キ

前任者ノ補闕ト爲シ投票ノ數相同キトキハ選舉掛長抽籤シテ其ノ順序ヲ

定ム

第三十一條 選舉掛長ハ選舉錄ヲ製シテ選舉ノ願末ヲ記録シ選舉ヲ終リタ

ル後之ヲ朗讀シ選舉掛二名以上ト共ニ之ニ署名捺印シ選舉人名簿其ノ他關係書類ト共ニ少クトモ四年間之ヲ保存スヘシ

投票ハ選舉ノ効力確定スルニ至ルマテ之ヲ保存スヘシ

第三十二條 選舉ヲ終リタルトキハ選舉掛長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告

知シ同時ニ選舉錄ノ寫ヲ添ヘ當選者ノ住所氏名ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

當選者當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ十日以内ニ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否ヲ府縣知事ニ申立ツヘシ

一人ニシテ數選舉區ノ選舉ニ當リタルトキハ最終ニ當選ノ告知ヲ受ケタ

ル日ヨリ十日以内ニ何レノ選舉ニ應スヘキヤト府縣知事ニ申立ツヘシ

定期改選、増員選舉、補闕選舉等ヲ同時ニ行ヒタル場合ニ於テ一人ニシテ

其ノ數選舉ニ當リタルトキモ亦前項ノ例ヲ適用ス

前三項ノ申立ヲ其ノ期限内ニ爲サ、ルトキハ當選ヲ辭シタル者ト看做ス

第七條第六項ノ官吏ニシテ當選シタル者ニ關シテハ本條ノ期間ヲ二十日以内トス

第三十三條 府縣會議員ノ當選ヲ辭シタル者アルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ

二人以上投票同數ニシテ年長ニ依テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ年少ニ依テ當選セサリシ者ヲ以テ當選トス但シ年少ニ依テ當選セサリシ者二人以上アルトキハ年長者ヲ取り同年月ナルトキハ選舉掛長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定ム

二人以上投票同數ニシテ抽籤ニ依テ當選シタル者其ノ當選ヲ辭シタルトキハ抽籤ノ爲當選セサリシ者ヲ以テ當選トス但シ抽籤ノ爲當選セサリシ者二人以上アルトキハ選舉掛長抽籤シテ其ノ當選者ヲ定ム

第三十四條 當選者其ノ當選ヲ承諾シタルトキハ府縣知事ハ直ニ當選證書ヲ付與シ及其ノ住所氏名ヲ公告スヘシ

第三十五條 選舉人選舉ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ府縣知事ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議少府縣參事會ニ決定スルコトヲ得
府縣知事ニ於テ選舉ノ效力ニ關シ異議アルトキハ第一項申立ノ有無ニ拘ラス第三十五條第一項ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ府縣參事會ノ決定ニ付スルコトヲ得

本條府縣參事會ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得
本條ノ事件ニ付テハ府縣知事ヨリモ亦訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十六條 選舉ノ規程ニ違背スルコトアルトキハ其ノ選舉ヲ無効トス但シ其ノ事ノ輕微キニシテ選舉ノ結果ニ異動ヲ生ゼサルモノハ此ノ限ニ在ラス

當選者ニシテ資格要件ヲ有セザルトキハ其ノ當選ヲ無効トス

第三十七條 選舉若シハ當選無効ト確定シタルトキハ更ニ選舉ヲ行フヘシ但シ得票ノ變動アリ又ハ選舉ノ資格要件ヲ有スル者選舉無効ト確定スルトキハ第三十四條ノ例ニ依ル

第三十八條 府縣會議員ニシテ資格要件ヲ有セサル者ナルトキハ其ノ職ヲ失フモノトス其ノ要件ノ有無ハ府縣參事會之ヲ決定ス

府縣會ニ於テ其ノ議員中資格要件ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ府縣知事ニ通知スヘシ但シ議員ハ自身ノ資格ニ關スル會議ニ於テ辯明スルコトヲ得ルモ其ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス

府縣知事ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ府縣參事會ノ決定ニ付スヘシ府縣知事ニ於テ資格要件ヲ有セサル者アリト認ムルトキ亦同シ

本條府縣參事會ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得府縣知事ニ於テ不服アルトキ亦同シ

第三十九條 本條 根正之異
協定及却願ノ判決ニ其ノ
法律者表ニ裁許書ヲ發シ
トキハ直ニテ告手スル

府縣會議員ハ其ノ資格ヲ有セストスル決定確定シ又ハ判決アルマテ會議ニ列席シ及發言スルノ權ヲ失ハス

第三十九條 東京市京都市大阪市ニ於テハ市長ノ職務關係ハ區長ニ屬セシメ又市トアルハ區市役所トアルハ區役所ト看做シ本款ノ規程ヲ適用ス

町村組合ニシテ町村全部ノ事務ヲ共同處分スルモノハ之ヲ一町村ト看做シ本款ノ規程ヲ適用ス

第四十條 府縣會議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉ニ關スル罰則ヲ適用ス

第二款 職務權限及處務規程

第四十一條 府縣會ノ議決ヲ經テキ事件左ノ如シ

- 一 歲入出豫算ヲ定ムル事
- 二 決算報告ヲ認定スル事
- 三 法律命令ニ定ムルモノヲ除ク外使用料、手数料、府縣稅及夫役、現品ノ賦課徵收ノ方法ヲ定ムル事
- 四 府縣有不動産ノ賣買交換讓受讓渡並賣入、書入ヲ爲ス事
- 五 積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事
- 六 歲入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除ク外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利

ノ棄却ヲ爲ス事

七 府縣有財産及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事但シ法律命令中別段ノ規程アルモノハ此ノ限ニ在ラス

八 府縣ニ係ル訴訟及和解ニ關スル事

九 其ノ他法律命令ニ依リ府縣會ノ權限ニ屬スル事項

第四十二條 府縣會ハ其ノ權限ニ屬スル事項ヲ府縣參事會ニ委任スルコトヲ得

第四十三條 府縣會ハ法律命令ニ依リ其ノ職權ニ屬スル選舉ヲ行フヘシ

第四十四條 府縣會ハ府縣ノ公益ニ關スル事件ニ付意見書ヲ府縣知事若ク

ハ内務大臣ニ呈出スルコトヲ得

第四十五條 府縣會ハ官廳ノ諮問アルトキハ意見ヲ答申スヘシ

法律命令ノ規程ニ依リ府縣會ノ意見ヲ徵スヘキ場合ニ於テ府縣會成立セス又ハ意見ヲ呈出セサルトキハ當該官廳ハ直ニ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十六條 府縣會議員ハ選舉人ノ指示若クハ委囑ヲ受クヘカラサルモノ

トス

第四十七條 府縣會ハ議員中ヨリ議長副議長各一名ヲ選舉スヘシ

議長副議長ハ議員ノ定期改選毎ニ之ヲ改選スヘシ

第四十八條 議長故障アルトキハ副議長之ニ代リ議長副議長共ニ故障アル

トキハ臨時ニ假議長ヲ選舉スヘシ

第四十九條 府縣知事及其ノ委任若クハ囑託ヲ受ケタル官吏、吏員ハ會議

ニ列席シ議事ニ關シテ辯明スルコトヲ得

前項ノ列席者ニ於テ發言ヲ求ムルトキハ議長ハ何時ニテモ之ヲ許スヘシ

第五十條 府縣會ハ毎年一回通常會ヲ開ク其ノ會期ハ三十日以内トス其

ノ他必要アルトキハ其ノ事件ニ限リ七日以内ヲ會期トシテ臨時會ヲ開クコトヲ得

市部會郡部會ヲ設ケタル府縣ニ於テハ七日以内前項ノ通常會期ヲ延長ス

ルコトヲ得

第五十二條

府縣會ハ府縣知事之ヲ招集ス若議員四分ノ一以上ヨリ請求アル場合ニ於キ相當ノ理由アリト認ムルトキハ府縣知事ハ府縣會ヲ招集スヘシ

招集並會議ノ事件ハ開會ノ日ヨリ少クトモ十四日前ニ告示スヘシ但シ急

施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

府縣會ハ府縣知事之ヲ開閉ス

第五十一條 府縣會ハ議員定員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開ク

コトヲ得ス

第五十二條 府縣會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ

決スル所ニ依ル

第五十三條 議長及議員ハ自己若シハ其ノ父母妻子兄弟姉妹ノ一身上ニ關

スル事件ニ付テハ府縣會ノ承請ヲ得ルニ非サレハ其ノ議事ニ參與スルコ

トヲ得ス

第五十四條 法律命令ノ規程ニ依リ府縣會ニ於テ選舉ヲ行フトキハ一名毎

ニ匿名投票ヲ爲シ有效投票ノ過半數ヲ得タル者ヲ以テ當選トス若過半數

ヲ得タル者ナキトキハ最多數ヲ得タル者二名ヲ取り之ニ就テ決選投票セ

シム其ノ二名ヲ取ルニ當リ同數者アルトキハ年長者ヲ取り同年月ナレハ

議長抽籤シテ之ヲ定ム此ノ決選投票ニ於テハ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當

選トシ若同數ナレハ年長者ヲ取り同年月ナレハ抽籤ヲ以テ當選者ヲ定ム

其ノ他ハ第十九條第二十八條第二十九條ヲ準用ス

前項ノ選舉ニ付テハ府縣會ハ其ノ議決ヲ以テ指名推選若シハ連名投票ノ

法ヲ用ユルコトヲ得其ノ連名投票ノ法ヲ用ユル場合ニ於テハ前項ノ例ヲ依

準用ス

第五十五條 府縣會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

- 一 府縣知事ヨリ傍聽禁止ノ要求ヲ受ケタルトキ
- 二 議長若シハ議員三名以上ノ發議ニ依リ傍聽禁止ヲ可決シタルトキ

前項議長若タハ議員ノ發議ハ討論ヲ用非ス其ノ可否ヲ決スヘシ

第五十六條 東京府京都府大阪府ニ於テハ府會ノ職權ニ屬スル事件ニシテ
專ラ東京市京都市大阪市ニ關スルモノト其ノ他ノ部分ニ關スルモノトヲ
分別議定セシムル爲市部會及郡部會ヲ設クヘシ

市部會郡部會ヲ設ケタル縣ニ於テハ前項ノ例ニ依リ縣會ノ議決ヲ經テ市
部會郡部會ヲ設ケタルコトヲ得

市部會郡部會ニ於テ議定スヘキ事件ト府縣會ニ於テ議定スヘキ事件トハ
府縣會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ムヘシ

市部會郡部會ヲ設ケタル府縣ニ於テハ市部議員ハ郡部會ノ會議ニ參與ス
ルコトヲ得郡部議員ハ市部會ノ會議ニ參與スルコトヲ得ス

市部會郡部會ハ各其ノ議員中ヨリ議長及副議長各一名ヲ選舉スヘシ

第五十七條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ會議ヲ開
閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第五十八條 府縣會議員ハ會議中無禮ノ語ヲ用非又ハ他人ノ身上ニ涉リ言
論スルコトヲ得ス

第五十九條 會議中此ノ法律若タハ會議規則ニ違ヒ其ノ他議場ノ秩序ヲ紊
ル議員アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ又ハ發言ヲ取消サシメ命ニ從ハサル
トキハ議長ハ當日ノ會議ヲ終ルマテ發言ヲ禁止シ又ハ議場ノ外ニ退去セ
シメ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

議場騷擾ニシテ整理シ難キトキハ議長ハ當日ノ會議ヲ中止シ又ハ之ヲ閉
ツルコトヲ得

第六十條 傍聽人公然可否ヲ表シ又ハ喧騒ニ涉リ其ノ他會議ノ妨害ヲ爲
ス者アルトキハ議長ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ之ヲ退場セシメ必
要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

傍聽席騷擾ナルトキハ議長ハ總テノ傍聽人ヲ退場セシメ必要ナル場合ニ
於テハ警察官吏ノ處分ヲ求ムルコトヲ得

第六十一條 議場ノ秩序ヲ紊リ又ハ會議ノ妨害ヲ爲ス者アルトキハ議員若
タハ第四十九條ノ列席者ハ議長ノ注意ヲ喚起スルコトヲ得

第六十二條 府縣會ニ書記ヲ置キ議長ニ隸屬シテ庶務ヲ處理セシム

書記ハ議長之ヲ任免ス

第六十三條 議長ハ書記ヲシテ會議録ヲ製シ會議ノ顛末竝出席議員ノ氏名
ヲ記錄セシムヘシ會議録ハ議長及議員二名以上之ニ署名捺印スルヲ要ス
其ノ議員ハ府縣會ニ於テ之ヲ定ムヘシ

議長ハ會議録ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第六十四條 府縣會ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ會議規則及傍聽人取締規則
ヲ設クヘシ其ノ會議規則ニハ此ノ法律竝會議規則ニ違背シタル議員ニ

對シ府縣會ノ議決ニ依リ七日以内出席ヲ停止スル規程ヲ設クルコトヲ
得

第三章 府縣參事會

第一款 組織及選舉

第六十五條 府縣ニ府縣參事會ヲ置キ府縣知事府縣高等官二名及名譽職參
事會員ヲ以テ之ヲ組織ス

市部會郡部會ヲ設ケタル府縣ノ名譽職參事會員ハ八名トシ其ノ他ノ縣ノ
名譽職參事會員ハ六名トス

府縣高等官ニシテ府縣參事會員タルヘキ者ハ内務大臣之ヲ命ス

第六十六條 名譽職參事會員ハ府縣會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ選舉スヘシ市
部會郡部會ヲ設ケタル府縣ノ名譽職參事會員ハ市部會郡部會ニ於テ各其
ノ定員ノ半數ヲ選舉スヘシ

府縣會ハ名譽職參事會員ノ補充員トシテ正員ト同數ヲ選舉シ正員中關員
アルトキハ府縣知事ニ於テ補充員中選舉同時ナルトキハ投票數ノ順次ニ
依リ投票同數ナルトキハ年齡ニ依リ選舉ノ時ヲ異ニスルトキハ選舉ノ前
後ニ依リ之ヲ補闕シ仍關員ヲ生シタル場合ニ於テハ臨時補闕選舉ヲ行フ

補闕員ハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

名譽職參事會員及其ノ補充員ハ府縣會議員ノ定期改選毎ニ之ヲ改選スヘ

シ但シ

名譽職參事會員ハ議員ノ任期滿限ノ爲退職スヘキ場合ト雖後任者就職ノ

日マテ在職スルモノトス

退任者ハ再選セラルコトヲ得

第六十七條 府縣參事會ハ府縣知事ヲ以テ議長トス府縣知事故障アルトキ

ハ高等官會員之ヲ代理ス

第二款 職務權限及處務規程

第六十八條 府縣參事會ノ職務權限左ノ如シ

一 府縣會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ其ノ委任ヲ受ケタルモノヲ議決スル事

二 府縣會ノ權限ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ府縣會成立セサルトキ又ハ府縣知事ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ム

ルトキ府縣會ニ代テ議決スル事

三 府縣知事ヨリ府縣會ニ提出スル議案ニ付府縣知事ニ對シ意見ヲ述べ及府縣會ニ報告スル事

四 府縣會ノ議決シタル範圍内ニ於テ府縣有財產及營造物ノ管理ニ關シ重要ナル事項ヲ議決スル事

五 府縣費ヲ以テ支辨スヘキ事業ノ執行ニ關シ重要ナル事項ヲ議決スル事

六 府縣出納吏ノ身元保證ヲ徵シ並其ノ額ヲ定ムル事

第七十條 府縣參事會ハ府縣ニ係ル收入支出ヲ検査スルコトヲ得

府縣參事會ハ前項ノ目的ヲ爲シ委員ヲ名譽職參事會員中ヨリ選舉シ府縣ニ係ル收入支出ヲ検査スルコトヲ得

前以検査ニ有ル
知事又ハ其ノ指命シタル官吏若シハ吏員支會ノ上關係書類並金庫ヲ檢閱

キシムルコトヲ得

第七十條 第四十四條及第四十五條ノ規程ハ府縣參事會ニモ亦之ヲ準用

ス

第七十一條 府縣參事會ハ府縣知事之ヲ招集ス若名譽職參事會員半數以上

ヨリ請求アル場合ニ於テ相當ノ理由アリト認ムルトキハ府縣知事ハ府縣

參事會ヲ招集スヘシ

府縣知事ハ必要ナル場合ニ於テハ會期ヲ定メテ府縣參事會ヲ招集スルコ

トヲ得

第七十二條 府縣參事會ノ會議ハ傍聽ヲ許サス

第七十三條 府縣參事會ハ議長又ハ其ノ代理者及名譽職參事會員定員ノ半

數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第六十八條第二ノ議決ヲ爲ストキハ高等官會員ハ其ノ議決ニ加ハラサル

モノトス

府縣參事會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル
所ニ依ル

會議ノ顛末ハ之ヲ會議録ニ記載シ議長及參事會員二名以上之ニ署名捺印

スヘシ

第七十四條 第五十二條ノ規程ハ府縣參事會員ニモ亦之ヲ準用ス但シ同條

ノ規程ニ依リ會員ノ數減少シテ前條第一項ノ數ヲ得サルトキハ府縣知事

ハ補充員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ以テ臨時之ニ充テ仍其ノ數ヲ得

サルトキハ府縣會議員ニシテ其ノ事件ニ關係ナキ者ヲ臨時ニ指名シ其ノ

關員ヲ補充スヘシ

議長代理者共ニ除席セラレタルトキハ年長ノ會員ヲ以テ假議長ト爲スヘ

シ

第七十五條 市部會郡部會ヲ設ケタル府縣ニ於テハ府縣參事會ノ職權ニ屬

不ル事件ニシテ專ラ市部ニ關スルモノハ郡部名譽職參事會員ニ於テ其ノ會議ニ參與スルコトヲ得ズ其ノ郡部ニ關スルモノハ市部名譽職參事會員ニ於テ其ノ會議ニ參與スルコトヲ得ズ

第四章 府縣行政

第一款 府縣吏員ノ組織及任免

第七十六條 府縣知事其ノ他府縣官吏ノ外府縣ニ有給ノ府縣吏員ヲ置クコトヲ得其ノ定員ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム

前項ノ府縣吏員ハ府縣知事之ヲ任免ス

第七十七條 府縣ニ府縣出納吏ヲ置キ府縣官吏、郡官吏、府縣吏員ノ中ニ就

キ府縣知事之ヲ命ス

第七十八條 府縣ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ臨時若クハ常

設ノ委員ヲ置クコトヲ得

委員ハ名譽職トス

委員ノ組織、選任、任期等ニ關スル事項ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム

第二款 府縣官吏、府縣吏員ノ職務權限及處務規程

第七十九條

府縣知事ハ府縣ヲ統轄シ其ノ行政事務ヲ擔任ス

府縣知事ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

- 一 府縣會及府縣參事會ノ議事ヲ準備シ並其ノ議決ヲ執行スル事
- 二 府縣有財產及營造物ヲ管理スル事但シ特ニ之カ管理者アルトキハ其ノ事務ヲ監督スル事

三 府縣ノ權利ヲ保護スル事

四 府縣ノ歳入ヲ管理シ歳入出豫算其ノ他府縣會若クハ府縣參事會ノ議決ニ依テ定マリタル收入支出ヲ命令シ會計及出納ヲ監視スル事

五 府縣ノ諸證書及公文書類ヲ保管スル事

六 外部ニ對シテ府縣ヲ代表シ府縣ノ名義ヲ以テ其ノ訴願、訴訟並和解ニ

關與シ又ハ他廳若クハ一個人ト交渉ナル事

七五 法律命令又ハ府縣會若クハ府縣參事會ノ議決ニ依リ使用料、手数料、

府縣稅及夫役、現品ヲ賦課徵收スル事

八 其ノ他法律命令又ハ上司ノ指令ニ依リ府縣知事ノ權限ニ屬スル事項

第八十條 府縣知事ハ議案ヲ府縣會ニ提出スル前之ヲ府縣參事會ノ審查

ニ付シ若府縣參事會ト其ノ意見ヲ異ニスルトキハ府縣參事會ノ意見ヲ議

案ニ添ヘ府縣會ニ提出スヘシ

第八十一條 府縣知事ハ府縣行政ニ關シ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部

ヲ府縣内ノ郡市島嶼町村ニ屬スルモノヲ其ノ郡市長島司町村長ニ管掌セ

第八十二條 府縣知事ハ府縣吏員ヲ監督シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得其ノ懲

戒處分ハ譴責、二十五圓以下ノ過怠金及解職トス

府縣知事ハ府縣吏員ノ懲戒處分ヲ行フノ前其ノ吏員ノ停職ヲ命シ並給料

支給ヲ停止スルコトヲ得

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間其ノ府縣ノ公職ニ選舉若クハ任命

第八十三條 府縣會若クハ府縣參事會ノ議決若クハ選舉其ノ權限ヲ越ヘ又

ハ法律命令ニ背クト認ムルトキハ府縣知事ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ內務

大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ直ニ其ノ議決若クハ選舉ヲ取消シ又ハ議

決ニ付テハ再議ニ付シタル上仍其ノ議決ヲ改メサルトキ之ヲ取消スヘシ

前項取消處分ニ不服アル府縣會若クハ府縣參事會ハ行政裁判所ニ出訴ス

ルコトヲ得

府縣會若クハ府縣參事會ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ府縣知事ハ

自己ノ意見ニ依リ又ハ內務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付

シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ內務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ

第八十四條 府縣會若クハ府縣參事會ニ於テ府縣ノ收支ニ關シ不適當ノ議

決ヲ爲シタルトキハ府縣知事ハ自己ノ意見ニ依リ又ハ内務大臣ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ内務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セスシテ直ニ内務大臣ノ指揮ヲ請フコトヲ得

第八十五條 府縣知事ハ必要アル場合ニ於テハ^{定期}府縣會ノ^{停止}ヲ命スルコトヲ得

第八十六條 府縣會若シハ府縣參事會招集ニ應セス又ハ成立セサルトキハ府縣知事ハ内務大臣ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得^五第五十三條第七十四條ノ場合ニ於テ^五全ク會議ヲ開クコト能ハサルトキ亦同シ

府縣會若シハ府縣參事會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス又ハ議了セサルトキハ前項ノ例ニ依ル

府縣參事會ノ決定若シハ裁決スヘキ事項ニ關シテモ本條第一項第二項ノ

例ニ依ル此ノ場合ニ於テ府縣知事ノ處分ニ不服アル者ハ各本條ニ依リ訴願訴訟ヲ提起スルコトヲ得

本條第十項ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ府縣會若シハ府縣參事會ニ報告スヘシ

第八十七條 府縣參事會ノ^限職權ニ屬スル事件ニシテ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ府縣參事會成立セサルトキ又ハ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ府縣知事ハ之ヲ專決處分シ次回ノ會議ニ於テ其ノ處分ヲ報告スヘシ

第八十八條 府縣行政ニ關スル府縣官吏ノ職務關係ハ此ノ法律中規程アルモノヲ除ク外官制ノ規程ニ依ル

府縣知事ハ府縣吏員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第八十九條 府縣出納吏ハ府縣^其出納及會計ノ事務ヲ掌ル

第九十條 府縣吏員ハ府縣知事ノ指揮命令ヲ受テ^其職務ニ從事ス

第九十一條 委員ハ府縣知事ノ指揮監督ニ屬シ府縣有財産若シハ營造物ヲ

管理シ若クハ監督シ又ハ府縣行政事務ノ一部ヲ分掌シ又ハ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處辨ス

第九十二條 府縣ノ事務ニ關スル處務規程ハ府縣知事之ヲ定メ内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

府縣吏員ノ服務規律ハ内務大臣之ヲ定ム

第三款 給料及給與

第九十三條 有給府縣吏員ノ給料額並旅費額及其ノ支給方法ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム若クハ府縣知事ノ許可ヲ受ケテ之ヲ定ム

キハ内務大臣之ヲ確定ス

第九十四條 各譽職員ハ職務取扱ノ爲ニ要スル實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得

實費辨償額及其ノ支給方法ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム若クハ府縣知事ノ許可ヲ受ケテ之ヲ定ム

キハ内務大臣之ヲ確定ス

第九十五條 府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ有給府縣

第九十六條 有給府縣吏員ノ退隱料及遺族扶助料ノ給與ニ關シ異議アルトキハ之ヲ府縣知事ニ申立ツルコトヲ得

前項ノ異議ハ府縣參事會之ヲ決定ス其ノ府縣參事會ノ決定ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九十七條 給料、旅費、退隱料、遺族扶助料、實費辨償其ノ他諸給與ハ府縣ノ負擔トス

第五章 府縣ノ財務

第一款 府縣有財產、營造物及府縣稅

第九十八條 府縣ハ積立金穀等ヲ設クルコトヲ得

第九十九條 府縣ハ府縣有財產若クハ營造物ノ使用ニ付使用料ヲ徵收シ又ハ特ニ一個人ノ爲ニスル事務ニ付手数料ヲ徵收スルコトヲ得

第一百條 此ノ法律中別ニ規程アルモノヲ除ク外使用料、手数料ニ關ス

ル細則ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム其ノ細則ニハ過料金二圓以下ノ罰則ヲ設クルコトヲ得

過料ニ處シ及之ヲ徵收スルハ府縣知事之ヲ掌ル其ノ處分ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第一百一條 府縣ハ其ノ公益上必要アル場合ニ於テハ府縣會ノ議決ヲ經テ國府縣郡市町村其ノ他公共團體若クハ一個人ノ事業ニ對シ寄付若クハ補助ヲ爲スコトヲ得

第一百二條 府縣ハ其ノ必要ナル支出及法律命令ニ依リ府縣ノ負擔ニ屬スル費用ヲ負擔スル義務アリ

第一百三條 府縣稅及其ノ賦課徵收方法ニ關シテハ此ノ法律中規程アルモノヲ除ク外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一百四條 府縣内ニ住居ヲ構フル者ハ府縣稅ヲ納ムル義務アルモノトス

第五節 府縣稅ノ負擔
第五百五條 三箇月以上府縣内ニ滞在スル者ハ其ノ滞在ノ初ニ遡リ府縣稅ヲ納ムル義務アルモノトス

第五百六條 府縣内ニ住居ヲ構ヘス又ハ三箇月以上滞在スルコトナシト雖府縣内ニ於テ土地、家屋、物件ヲ所有シ若クハ使用シ又ハ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ又ハ府縣内ニ於テ特定ノ行爲ヲ爲ス者ハ其ノ土地、家屋、物件、營業若クハ其ノ所得ニ對シ又ハ行爲ニ對シテ賦課スル府縣稅ヲ納ムル義務アルモノトス

第五百七條 所得ニ對シ府縣稅ヲ賦課スルトキハ納稅者ノ府縣外ニ於テ所有シ若クハ使用スル土地、家屋、物件又ハ府縣外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所得ハ之ヲ控除スヘキモノトス

第五百八條 府縣稅ニ對シ府縣稅ヲ賦課スルトキハ納稅者ノ府縣外ニ於テ所有シ若クハ使用スル土地、家屋、物件又ハ府縣外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所得ハ之ヲ控除スヘキモノトス

第五百九條 府縣稅ニ對シ府縣稅ヲ賦課スルトキハ納稅者ノ府縣外ニ於テ所有シ若クハ使用スル土地、家屋、物件又ハ府縣外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所得ハ之ヲ控除スヘキモノトス

第六百條 府縣稅ニ對シ府縣稅ヲ賦課スルトキハ納稅者ノ府縣外ニ於テ所有シ若クハ使用スル土地、家屋、物件又ハ府縣外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所得ハ之ヲ控除スヘキモノトス

第六百一條 府縣稅ニ對シ府縣稅ヲ賦課スルトキハ納稅者ノ府縣外ニ於テ所有シ若クハ使用スル土地、家屋、物件又ハ府縣外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所得ハ之ヲ控除スヘキモノトス

第六百二條 府縣稅ニ對シ府縣稅ヲ賦課スルトキハ納稅者ノ府縣外ニ於テ所有シ若クハ使用スル土地、家屋、物件又ハ府縣外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所得ハ之ヲ控除スヘキモノトス

第六百三條 府縣稅ニ對シ府縣稅ヲ賦課スルトキハ納稅者ノ府縣外ニ於テ所有シ若クハ使用スル土地、家屋、物件又ハ府縣外ニ於テ營業所ヲ定メタル營業ヨリ收入スル所得ハ之ヲ控除スヘキモノトス

第百八條 數府縣ニ涉リ營業所ヲ定メテ營業ヲ爲シ且其ノ本稅ヲ分別シテ納メサル者ニ對シ營業稅ノ附加稅ヲ賦課スルトキハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ本稅額ヲ各府縣ニ分割シテ其ノ一部分ニシテ課稅スヘシ

第百九條 市町村內ニ於テ徵收スル府縣稅賦課ノ細目ニ係ル事項ハ府縣會ノ議決ニ依リ關係市町村會ノ議決ニ付スルコトヲ得

前項市町村會ノ議決ハ法律命令又ハ府縣會ノ議決ニ抵觸スルコトヲ得ス市町村會ニ於テ府縣會ノ議決ニ依リ定マリタル期限内ニ其ノ議決ヲ爲サズルキハ府縣參事會之ヲ議決スヘシ

第百十條 府縣稅ノ免除ニ關シテハ法律勅令ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルモノヲ除ク外市町村稅免除ノ規程ニ依ル

第百十一條 府縣內ノ一部ニ對シ特ニ利益アル事業ニ關シテハ其ノ利益ノ程度ニ準シ該部分ノ負擔ヲ增課スルコトヲ得

第百十二條 府縣稅ノ納稅義務ノ起リタル翌月ノ初ヨリ免稅理由ノ生シタ

ル用ノ終マテ月割ヲ以テ之ヲ徵收スヘシ但シ日割ヲ以テ徵收スルモノ及
一時ノ稅ハ此ノ限ニ在ラズ

納稅義務消滅シ又ハ變更スルトキハ納稅者ヨリ之ヲ府縣知事ニ届出ツヘ
シ其ノ届出ヲ爲シタル月ノ終マテハ仍從前ノ稅ヲ徵收スルコトヲ得

土地家屋其ノ他物件ヲ目的トシ納期ヲ定メテ一定ノ額ヲ賦課スル府縣
稅ハ其ノ納期ニ於テ納稅義務ヲ負フ者其ノ額ヲ納ムトシ

府縣稅ノ前納ニ係ルモノハ徵收後納稅義務消滅シ變更シ又ハ移轉シタル
場合ト雖之ヲ還付セズ但シ納稅義務ノ移轉ヲ受ケタル者ハ其ノ前納期限

ノ終マテ納稅セサルモノトス

第百十三條 府縣ハ其ノ必要ニ依リ府縣內ノ一部ニ對シ夫役及現品ヲ賦課
スルコトヲ得但シ學藝、美術及手工ニ關スル勞役ヲ課スルコトヲ得ス

夫役及現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金額ニ算出シテ賦課スヘシ
夫役ヲ課セラレタル者ハ其ノ便宜ニ從ヒ本人自ラ之ニ當リ又ハ適當ノ代

人ヲ出スコトヲ得又夫役現品ハ急迫ノ場合ヲ除ク外金圓ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第百十四條 府縣稅ノ減免若タハ納稅ノ延期ハ特別ノ事情アル者ニ限り府縣知事ハ府縣參事會ノ議決ヲ經テ之ヲ許スコトヲ得

第百十五條 市部會郡部會ヲ設ケタル府縣ニ在テハ府縣ノ費用ヲ市部及郡部ニ分賦ス其ノ分賦ノ割合ハ府縣會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ受ケヘ

ト若之ヲ許可スヘカラスト認ムルトキハ内務大臣之ヲ確定ス

市部ノ負擔額ハ市ノ豫算ニ編入シ市ノ支出ト爲シ之ヲ府縣金庫ニ納ム

ト郡部ノ負擔額ハ此ノ法律ノ規程ニ依リ之ヲ徵收ス

第百十六條 市制施行ノ府縣ニ在テハ郡廳舎建築修繕費 郡吏員給料旅費及廳費ハ市ヲ除キ其ノ郡ニ屬スル部分ニ於テ之ヲ負擔スルモノトス

前項ノ府縣ニ在テハ其ノ府縣ノ支出費目中市ト其ノ他ノ部分ト利害ノ厚薄ヲ異ニシ均一ノ負擔ヲ爲サシムルコトヲ得サルモノアルトキハ府縣會

ノ議決ヲ經其ノ費目ニ限り一方ノ負擔ヲ增加スルコトヲ得其ノ負擔ノ割合ハ内務大臣ノ許可ヲ受クヘシ若之ヲ許可スヘカラスト認ムルトキハ内務大臣之ヲ確定ス

第百十七條 府縣稅使用料手數料夫役現品ニ代フル金圓過料其ノ他府縣

ノ公法上ノ收入ヲ定期内ニ納メサル者アルトキハ府縣知事ハ國稅滯納處

分ノ例ニ依リ之ヲ處分スヘシ

本條ニ記載スル徵收金ノ追徵還付期滿免除及先取特權ニ付テハ國稅ニ

關スル例ヲ適用ス

第百十八條 府縣稅ノ賦課ヲ受ケタル者キレテ其ノ課目課額ニ錯誤アリト

認ムルトキハ徵稅令書又ハ徵稅傳令書ノ交付後三箇月以内ニ其ノ徵稅令

書又ハ徵稅傳令書ヲ發シタル行政廳ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得其ノ申

立ヲ受ケタル行政廳ハ二十一日以内ニ決定ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ町村長ノ決定ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其ノ郡

○本條第一項ニ於テ町村長ノ決定ニ不服アル者ハ郡參事會ニ訴願シ其ノ郡參事會ノ決定ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ府縣知事ノ決定ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

後

前

○借用科 手手 表 抄 徴 込 事 由
○前項 地方 官 制 法
○本年 事件 府 縣 知 事
○市長 市 長 府 縣 知 事
○起 債 時 限

前項 地方 官 制 法 依 據
○ 參事會ノ裁決ニ不服アル者又ハ郡市長ノ決定ニ不服アル者ハ府縣參事會
ニ訴願シ其ノ府縣參事會ノ裁決又ハ府縣知事ノ決定ニ不服アル者ハ行政
裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第百十九條 府縣ハ其ノ負債ヲ償還スル爲又ハ府縣ノ永久ノ利益ト爲ルヘ
キ支出ヲ要スル爲又ハ天災事變等ノ爲必要アル場合ニ限り府縣會ノ議決
ヲ經テ府縣債ヲ起スコトヲ得

府縣債ヲ起スニ付府縣會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法、利息ノ
定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ

府縣債償還ノ初期ハ起債ノ時ヨリ三年以内ト爲シ年年ノ償還歩合ヲ定メ
起債ノ時ヨリ三十年以内ニ還了スルヲ以テ常例トス

豫算内ノ支出ヲ爲ス爲必要ナル一時ノ借入金ニシテ其ノ年度ノ收入ヲ以
テ償還スヘキモノハ本條ニ依ル限ニ在ラス但シ府縣參事會ノ議決ヲ經ヘシ

第二款 府縣ノ歳入出豫算及決算

第百十八條 府縣知事ハ每會計年度歳入出豫算ヲ調製シ少クトモ年度主
體用前ニ府縣會ノ議決ヲ經ヘシ但シ府縣ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ
同シ

豫算ヲ府縣會ニ提出スルトキハ府縣知事ハ併セテ府縣有財産表ヲ提出ス
ヘシ

第百二十條 府縣知事ハ府縣會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加若クハ更正
ヲ爲スコトヲ得

第百二十一條 府縣ノ費用ヲ以テ支辨スル事業ニシテ數年ヲ期シテ施行ス
ヘキモノ又ハ數年ヲ期シテ其ノ費用ヲ支出スヘキモノハ府縣會ノ議決ヲ
經テ其ノ年期間各年度ノ支出額ヲ定メ繼續費ト爲スコトヲ得

第百二十二條 豫算外ノ支出若クハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲ニ豫備費ヲ
設クヘシ

豫備費ノ支出ハ府縣參事會ノ議決ヲ經トシ但シ府縣會ノ否決シタル費途

ニ充ツルコトヲ得ス

第二百四十四條 府縣會計ニ關シテハ此ノ法律中規程アルモノヲ除ク外勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二百五條 豫算調製ノ式並費目流用ニ關スル規程ハ内務大臣之ヲ定ム

第二百二十六條 豫算ハ其ノ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ内務大臣ニ報告シ並其ノ要領ヲ告示スヘシ

第二百二十七條 府縣知事ハ府縣會計ノ議決ヲ經テ特別會計ヲ設クルコトヲ得

第二百二十八條 府縣會計於テ豫算ヲ議決シタルトキハ府縣知事ヨリ其ノ豫

本ヲ府縣出納吏ニ交付スヘシ其ノ豫算中監督官廳ノ許可ヲ受クヘキ事項アルトキハ先ヅ其ノ許可ヲ受クヘシ

府縣出納吏ハ府縣知事又ハ内務大臣ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス又府縣出納吏ハ府縣知事ノ命令ヲ受クルモ支出ノ豫算ナキガ又ハ豫備費支出及費目流用ノ規程ニ依ラサルトキハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規程ニ背キタル支拂ハ總テ府縣出納吏ノ責任ニ歸ス

第二百二十九條 府縣ノ出納ハ毎月例日ヲ定メテ検査シ及毎年少クトモ一回臨時検査ヲ爲スヘシ

検査ハ府縣知事之ヲ爲シ臨時検査ニハ府縣參事會ニ於テ選舉シタル名譽職參事會員ノ立會ヲ要ス

第二百三十條 府縣ノ出納閉鎖ハ會計年度後三箇月ヲ以テ期限トス

決算ハ出納閉鎖期限後一箇月以内ニ證書類ヲ併セテ府縣出納吏ヨリ之ヲ府縣知事ニ提出スヘシ府縣知事ハ之ヲ審査シ意見ヲ付シテ次ノ通常會ニ

於テ之ヲ府縣會計認定ニ付スヘシ

決算ハ府縣會計認定ニ付スルノ前府縣參事會ノ審査ニ付スヘシ若府縣知事ト府縣參事會ト意見ヲ異ニスルトキハ府縣知事ハ府縣參事會ノ意見ヲ

決算ニ添ヘ府縣會計提出スヘシ

決算報告書及之ニ關スル府縣會計ノ議決ハ府縣知事ヨリ之ヲ内務大臣ニ報

○第百三十一條 府縣行政ノ監督
府縣行政ハ内務大臣之ヲ監督ス
此ノ法律ニ規定スル異議若シハ
訴願ハ處分ヲ爲シ又ハ決定
書若シハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル翌日ヨリ起算シ十四日以内
ニ之ヲ提起スヘシ但シ此ノ法律中別ニ期限ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在
ラス

告シ並決算ノ其要領ヲ告示スヘシ

第六章 府縣行政ノ監督

第百三十一條 府縣行政ハ内務大臣之ヲ監督ス

第百三十二條 此ノ法律ニ規定スル異議若シハ訴願ハ處分ヲ爲シ又ハ決定

書若シハ裁決書ヲ交付シ又ハ之ヲ告知シタル翌日ヨリ起算シ十四日以内

ニ之ヲ提起スヘシ但シ此ノ法律中別ニ期限ヲ定メタルモノハ此ノ限ニ在

ラス

此ノ法律ニ規定スル行政訴訟ハ處分ヲ爲シ決定若シハ裁決書ヲ交付シ又

ハ之ヲ告知シタル翌日ヨリ起算シ二十一日以内ニ之ヲ提起スヘシ

異議、訴願及訴訟ヲ提起スル者アルモ此ノ法律中別段ノ規程アルモノヲ

除ク外處分ノ執行ヲ停止セス但シ行政廳及行政裁判所ハ其ノ職權ニ依リ

又ハ關係者ノ願ニ依リ必要ト認ムルトキハ處分ノ執行ヲ停止スルコトヲ

得

○此ノ法律ニ規定スル異議、決定、
裁決書ニ對シテ其ノ理由ヲ付ス
前記異議、決定書ニ對シテ又
ハ之ヲ告知ス
○法律ニ規定スル異議申立
差違、不服、提起、異議、申立
並天災事變、損害、救済、特例、
中テ民事、訴訟、規則、適用、
ハ之ヲ告知ス

第百三十三條 内務大臣ハ府縣行政ノ法律命令ニ背戻セサルヤ其ノ事務錯

亂澁滞セサルヤ否ヲ監視スヘシ内務大臣ハ之カ爲行政事務ニ關シテ報告

ヲ爲サシメ豫算決算等ノ書類帳簿ヲ徴シ並實地ニ就テ事務ヲ視察シ出納

ヲ檢閱スルノ權ヲ有ス

内務大臣ハ府縣行政ヲ監督スル爲ニ必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スノ權

ヲ有ス

第百三十四條 内務大臣ハ府縣ノ豫算中不適當ト認ムルモノアルトキハ之

ヲ削減スルコトヲ得

第百三十五條 府縣會ノ解散ハ内務大臣之ヲ命ズ此ノ場合ニ於テハ三箇月

以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

府縣會解散ノ場合ニ於テハ名譽職參事會員モ亦解職スルモノトス

解散後始メテ府縣會ヲ招集スルトキハ府縣知事ハ第五十條第一項ノ規程

ニ拘ラス内務大臣ノ許可ヲ得テ別ニ會期ヲ定ムルコトヲ得

第百三十二條 府縣官吏の職務に付、内務大臣の許可を得

五十

第百三十六條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

- 一 學藝美術ニ關シ又ハ歷史上貴重ナル物件ノ賣却交換讓渡賣入書入
若シハ大ナル變更ヲ爲ス事

- 二 使用料、手数料ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

- 三 積立金穀等ノ設置及處分ニ關スル事

- 四 寄附若シハ補助ヲ爲ス事

- 五 府縣有不動産ノ賣却交換讓渡並賣入書入ヲ爲ス事

- 六 第百十一條ニ依リ府縣内ノ一部ニ對シ費用ヲ増課スル事

- 七 第百十三條ニ依リ夫役及現品ヲ賦課スル事但シ急迫ノ場合ハ此ノ限
キ在ラズ

キ在ラズ

- 八 繼續費ヲ定メ若シハ變更スル事

- 九 特別會計ヲ設クル事

第百三十七條 左ニ掲クル事件ハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クルコト

ヲ要ス

- 一 府縣債ヲ起シ並起債ノ方法、利息ノ定率及償還ノ方法ヲ定メ若シハ
變更スル事但シ第百十九條末項ノ借入金ハ此ノ限ニ在ラス

- 二 地租十分ノ三ヲ超過スル府縣稅ヲ土地ニ賦課スル事

- 三 國庫ヨリ交付スル補助金ニ對シ支出金額ヲ定メ若シハ變更スル事

- 四 第百二十八條 府縣行政ニ關シ主務大臣ノ許可ヲ要スヘキ事項中輕易ナル
モノハ勅令ノ規程ニ依リ府縣知事ヲシテ處分セシムルコトヲ得

- 五 第百三十九條 府縣出納吏其ノ職務ヲ盡サズ又ハ權限ヲ越ヘタルコトアル
爲府縣ニ對シテ賠償スヘキコトアリト認ムルトキハ府縣知事ハ府縣會ノ
議決ヲ經テ賠償ヲ命メルコトヲ得

- 六 前項賠償責任ノ有無並賠償額ニ付不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコ
トヲ得

- 七 本條賠償金ヲ納メサルトキハ第百十七條ノ例ニ依リ處分ス

トヲ得

本條賠償金ヲ納メサルトキハ第百十七條ノ例ニ依リ處分ス

トヲ得

本條賠償金ヲ納メサルトキハ第百十七條ノ例ニ依リ處分ス

○第百三十二條 府縣の行政に關し
主務大臣の許可を得る事
其ノ輕易ナル事項ハ勅令ニ依リ
モノハ勅令ニ依リ府縣知事に
處分せしむるコトヲ得

第七章 附則

第四百一十條 此ノ法律ハ明治二十三年法律第三十五號府縣制ヲ施行シタル府縣ニ關シテハ明治三十年四月一日ヨリ之ヲ施行シ其ノ他ノ府縣ニ關スル施行ノ時期ハ府縣知事ノ具申ニ依リ内務大臣之ヲ定ム

第四百一十一條 島嶼ニ關スル府縣行政ニ付テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

所村 郡制ヲ施行セサル島嶼ヨリ選出スヘキ府縣會議員ノ選舉ニ關スル事項ハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第四百一十二條 明治二十三年法律第八十八號府縣稅徵收法及地方稅ニ關スル從前ノ規程ハ此ノ法律ニ依リ變更シタルモノヲ除ク外追テ法律命令ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルマテ其ノ效力ヲ有スルモノトス

第四百一十三條 此ノ法律施行ノ際府縣會及府縣參事會ノ職務ハ其ノ成立ニ至ルマテノ間府縣知事之ヲ行フ

第九百五十九條 法律命令ハ別段ノ規定ニ依リテ之ヲ施行スルコトヲ得
第九百六十條 法律命令ハ別段ノ規定ニ依リテ之ヲ施行スルコトヲ得
第九百六十一條 法律命令ハ別段ノ規定ニ依リテ之ヲ施行スルコトヲ得
第九百六十二條 法律命令ハ別段ノ規定ニ依リテ之ヲ施行スルコトヲ得
第九百六十三條 法律命令ハ別段ノ規定ニ依リテ之ヲ施行スルコトヲ得
第九百六十四條 法律命令ハ別段ノ規定ニ依リテ之ヲ施行スルコトヲ得
第九百六十五條 法律命令ハ別段ノ規定ニ依リテ之ヲ施行スルコトヲ得
第九百六十六條 法律命令ハ別段ノ規定ニ依リテ之ヲ施行スルコトヲ得
第九百六十七條 法律命令ハ別段ノ規定ニ依リテ之ヲ施行スルコトヲ得
第九百六十八條 法律命令ハ別段ノ規定ニ依リテ之ヲ施行スルコトヲ得
第九百六十九條 法律命令ハ別段ノ規定ニ依リテ之ヲ施行スルコトヲ得
第九百七十條 法律命令ハ別段ノ規定ニ依リテ之ヲ施行スルコトヲ得

第四百一十四條 市制町村制施行ノ爲定ムル直接稅ノ種類ハ此ノ法律ニ施行ニ關シテモ亦之ヲ適用ス

此ノ法律ニ於テ直接稅トスヘキモノハ内務大臣及大藏大臣之ヲ告示ス

第四百一十五條 此ノ法律施行ノ後ハ市部會ヲ設ケタル府縣ノ其ノ市ニ於ケル市制第五百五十八條ニ定ムル附加稅徵收ノ許可ハ地租十分ノ六ヲ超過スルトキ之ヲ要スルモノトス

第四百一十六條 明治十三年第十五號布告府縣會規則明治十四年第八號布告區郡部會規則明治二十二年法律第六號府縣會議員選舉規則其ノ他此ノ法律ニ抵觸スル從前ノ法規ハ此ノ法律施行ノ府縣ニ於テハ其ノ效力ヲ失フ

モトトス

第四百一十七條 此ノ法律ニ規定スルモノヲ除ク外府縣行政ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ得

第四百一十八條 此ノ法律ヲ施行スル爲必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

